

嘉島西小だより ゆうすい NO.16

嘉島町立嘉島西小学校
令和4年2月4日(金)
文責：校長 荒牧和子

★新校舎内覧会

1月26日(水)穏やかな青空のもと、嘉島西小学校の新校舎内覧会が行われました。感染防止ということで、荒木町長のご挨拶の後、校舎を見て回るというごく短い時間での内覧会でしたが、議員の皆様、区長の皆様に新しい校舎をご覧いただくことができました。

木の香りが漂う平屋建ての6教室と広い廊下、開放的な中庭。保護者の皆様にも、機会を作り、ぜひご覧いただきたいと思います。教室としての使用は次年度からですが、6年生も、卒業前に何かの形で使う場を設けられればと考えています。



★受賞おめでとう！「ごはん・お米とわたし 作文・図画コンクール」

夏休みの課題で挑戦した「ごはん・お米とわたし 作文・図画コンクール」で3名の方が入賞しました。夏の募集だったので、全国審査まであるので、つい先日、賞状などが送られてきました。そこで、チームスでの全校集会で、みなさんに紹介しました。受賞、おめでとう♡



【審査員の講評】
水を張った広々とした水田での田植えの体験を表現した爽やかな作品です。水の透明感や反射した様子を水彩絵の具と水加減で実にうまく表現しています。腰をかがめて丁寧に田植えをする「ぼく」の様子、そして「ぼく」を隣で見守っているのは家族でしょうか、眼差しにとってもあたたかさを感じます。衣服のピンクや畦道の黒も画面に変化を生み出しています。



「じいちゃん、いつもありがとう」

わたしは、毎日おいしいお米をたべています。わたしが食べているお米を作っているのは、山鹿のじいちゃんです。こんなにおいしいお米を作るじいちゃん、すごいとおもいます。なぜそう思ったのかというと、わたしは通っていたようち園で、田植えといねかり作業を体けんしたからです。田植えをするときに田に足を入れると、足がぬかるんで動くのがとても大へんでした。いねかりではたくさんあるいねをかめるのが大へんでした。そんな大へんな作業を毎年やってるじいちゃん、本当によいです。

じいちゃんは、お米のたねを消どくから田植え、いねかりをします。いねかりが終わると、菜たねを植えて花がさいたら、たがやしてたいひにするまでほとんど一人で作っています。じいちゃんのお米は、「特別さいばい米」といいます。たねは六十度のお湯を使って消どくしたり、いねの消どくの回数へらしたりと、ふつうのお米の作り方は少しちがいます。じいちゃんのお米の作り方は少しちがいます。うだわりがたくさんつまっているなと思いました。

また、わたしたち家族やいとこたちの分だけなく、近くの保育園にも作ったお米を分けてくれるのを知ったとき、じいちゃんは自分のためだけでなく、みんなのために、おいしいお米をたくさんつくって、みんなに笑顔になつてもらいたいんだなあ、すごいなあとおもいました。

家族でごはんを食べている時、「やばりじいちゃんのお米が一番おいしいね。」とよく話します。じいちゃんのお米を食べると、つかれて帰ってきて、元気になるような気がします。わたしたちは、家族みんな、毎日おいしいごはんが食べられる今のかんきょうは、とてもめぐまれているとおもいました。

もう少ししたらいねかりの季節です。今年はどうなのかいとお米ができてくるのかと思うとわくわくします。

私も四年生になって力も強くなってきたので、じいちゃんのお米作りの作業のお手伝いをがんばろうと思います。大好きなじいちゃんには元気で長生きしてほしいと思います。

じいちゃん、おいしいお米をいつもありがとう。

大好きなおじいちゃんへの感謝と尊敬の思いが伝わってきます。♡

★★★ 受賞者紹介 ★★★

【図画の部】
熊本県農業協同組合中央会会長賞、全国審査 優秀賞 3年 竹下慧さん「ぼくの田植え」
佳作 5年 岩本京楓さん

【作文の部】
優秀賞 4年 牛嶋愛梨さん「じいちゃん、いつもありがとう」

